モルックの発祥と日本モルック協会の生い立ち

モルック（Mölkky）とは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なキッカ（kyykkä）（Finnish skittles）というゲームを元に、フィンランドの Tuoterengas 社によって 1996 年に開発されたスポーツです。

モルックはキッカ（kyykkä）ほどの体力を必要とせず、老若男女が楽しめるものです。

毎年夏に、モルックの本場フィンランドでモルック世界大会が開催されています。

2008 年より、ヘルシンキに在住していた日本人の八ツ賀さんが、職場の仲間とともに毎夏モルックをしていた。

2010 年、八ツ賀さんが周囲の日本人に声をかけ、5 人の日本人チームを作り、初めて日本チームとしてモルック世界大会に参加した。

モルック世界大会に日本人が参加したのはこの年が初めてであった。この年は、2 回戦敗退であった。当時のチーム名は、Wasabi（わさび）であった。

2011 年、昨年の教訓・経験を活かし、5 月より定期的に練習を開始した。7 月に初めてフィンランド国外の大会であるスロバキアモルック大会へチームジャパンとして出場（総合 4 位）。

自分たちの練習方法に自信を持つと同時に、日本国・日本人の代表としての意識を強め、モルックを通じて国際交流を深めることを決意する。

その後すぐに、八ツ賀さんが代表になり、**日本モルック協会（JMA）創設**し、同時にフィンランド国際モルック協会（FIMA）初の国際メンバーとして加入。この年より、チーム名をチームジャパンへ改名、固定とした。

2012 年には約 200 チームが参加する世界大会の中でベスト 16 まで進出した。さらに 2013 年は日本選手が多数参加し、計 3 チームが世界大会に参戦した。

現在は各国のモルック協会、特にフィンランド国際モルック協会（FIMA）と共に、日本国内でのモルックの普及、日本チームの強化を目的として活動を続けている。

kyykkä（Finnish skittles）の競技風景

小学生のモルック初体験

岩手県北上市では、

2014 年 4 月　　岩手県北上市江釣子に「みんなでモルック！」の会を結成した。

2014 年 6 月　　江釣子小学校で昼食後の自由時間で初回のモルック体験（15 名）

注：文章は、日本モルック協会の旧ホームページから
http://molkky.jp/ri_benmorukku_xie_hui/Home.html から
画像は、“Finnish skittles”の検索画像と
「みんなでモルック！」の会のホームホームページから

2014.07.08「みんなでモルック！」の会　編集